

<p>卒業研究プロジェクト</p> <p>テーマ: 絵画に描かれて いる窓について (卒論) (内)</p> <p>氏名: 朴真珠 (外)</p>	内部環境要因 (自分について)	
<p>Strength 強み</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵画に非常に興味をもっている 美術史や画家についてある程度常識をもっている 	<p>Weakness 弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵画の見方についてあまり勉強ができていない 日本語が"母国語ではないので"、日本語で文書を書くのにプレッシャーを感じる 日本語の本を読むとき、時間がかかる。(知らない単語を辞書で調べたり) 	

<p>Opportunity 機会</p> <p>おい風</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究室で"お"に研究が進んでいる 10月中に、五十嵐先生と共同で建築新聞に記事を書く予定である 	<p>積極展開戦略 ⊕⊕</p> <p>現在の強みと機会を活かした展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究室でみんなの調査成果を自分の研究資料として使える。 元々自分の興味ある分野についてのテーマなので、意欲的に研究をするのができる。 記事を書くのは、自分の卒論を書くためのトレーニングにもなるし、メディアに発表されるというのを意識しながらもっと頑張れる。 	<p>差別化戦略 ⊖⊕</p> <p>弱さを補うポジショニングを探す</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓学のセミナー中、我々がもつべきな絵画の見方について勉強するのができる。(五十嵐先生からのアドバイスなど) 新聞に記事を書くのを一つのきっかけとして、作文力を養う。 分からない日本語の意味は一緒に研究を進んでいる研究室の人々に助けを求める。
--	--	--

<p>Threat 脅威 きょうい</p> <p>おかい風</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校内(特に研究室)に美術関連書籍が少ない YKKの方から研究テーマが定まっている 比較対象である 	<p>対抗戦略 ⊕⊖</p> <p>強みで競合に立ち向かう戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校内で手に入れないデータ収集のために、他の施設に足を運ぶ。 YKKの方から定まった研究テーマを自分なりの考えで、さらにアレンジする 先例が少ないというのはある意味メリットがあるので、もっとユニークな研究テーマになると、その新しさに挑戦する 	<p>守備撤退戦略 ⊖⊖</p> <p>勇気ある撤退も視野に入れた守り</p> <ul style="list-style-type: none"> 完璧な日本語をめざすよりは、自分がもっている考えを伝えるためのふさわしい表現を探す。 手に入るデータを充実に使う。 YKKの方より頼まれてから始まって研究なので、なるべくその会社の指示に従う。 美術専門ではないので、建築を学ぶ学生としての
--	---	---

先例が数少ない

プロジェクトマネジメント
の3アプローチ方法をそのまま使う
絵画に対しても

内部環境要因

卒業研究プロジェクト

テーマ: パリ市内の
19世紀以降に建てられた
鉄骨造の教会についての
研究

氏名: 菊池由香

Strength 強み

- ・ 飛ヶ谷先生のアドバイスがある
- ・ 同年代の研究をやっていて先輩のアドバイスがある
- ・ Google, Cinii 検索できる
- ・ 論文本の検索が容易にできる環境である
- ・ 研究対象の建物が定まっている

Weakness 弱み

- ・ 残り時間が限られている
- ・ 日本国内において、研究対象の建物が近くにない
- ・ 日本語訳された資料・本があまりない
- ・ 情報が少ない
- ・ 英・仏語の資料を自力で探さねばならない
- ・ 飛ヶ谷研の先輩が1つ上しかいない
- ・ 教会の論文データベースを探さねばならない
- ・ パリに行かないと調べられない
- ・ 仏語わからない

Opportunity 機会

- ・ 10月に実際にパリへ行って建物をみる事ができる友人と。
- ・ 現地で仏語の資料を得ることが出来る
- ・ 鉄骨造教会の建築家の資料が他大にある

積極展開戦略

- 現在の強みと機会を活かした展開
- ・ 飛ヶ谷先生にじっくりアドバイスを頂き、明確な研究目的を持ってパリに行く。
 - ・ 研究対象の教会の仏語の資料を本屋で探す。
 - ・ 他大から詳細が載っている資料を見取り寄せる。

差別化戦略

- 弱さを補うポジショニングを探す
- ・ 残り時間が少ない分、現地で資料をしっかりと集める
 - ・ 日本語の資料が少なければ、現地で見る!! 行く!!
 - ・ 写真・測る。
 - ・ 仏語の勉強をする
 - ・ パリに行く前に、しっかり地理を勉強しておく
 - ・ パリに行く前に、集められるだけの資料を集めおく
 - ・ 鉄骨教会の何を研究するか9月には決める

外部環境要因

Threat 脅威

- ・ あまり資料がない
- ・ 院試勉強であまり8月は研究に時間を割けない
- ・ 飛ヶ谷先生の研究対象外の研究をする
- ・ パリ滞在期間が短すぎる
- ・ 高額な旅行費
- ・ 他大にしかなくない

対抗戦略


- 強みで競合に立ち向かう戦略
- ・ Google, Cinii 検索でパリ市内にある鉄骨造教会の図面が載っている資料を探し、見取り寄せる。
 - ・ 院試が終わり次第、研究に本腰を入れる。2ヶ月
 - ・ パリ滞在5日間のうちに、見て回る建物とその位置、見とくるポイントなどを詳細に計画を立て実行する。

守備撤退戦略

- 勇気ある撤退も視野に入れた守り
- ・ 8月は院試に専念する
 - ・ 飛ヶ谷先生の「お力に頼りすぎず、過去の論文も参考に」
 - ・ 似た「違い」をたどる
 - ・ 資料は少ないとあきらめる
 - ・ 少ない資料で

<p>卒業研究プロジェクト</p> <p>テーマ: 作家別住宅トイプランの比較</p> <p>氏名: 清水 葵</p>	内部環境要因	
外部環境要因	<p>Strength 強み</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築計画関連の本を読んでいる。 平均的トイ床面積を答えられる (通常 900x1250mm) (ユニバーサルデザイン min 1200x1600mm) 住宅特集 2000~2009年を通してすでに2回見ている。 積極的な性格をしている データを持っているという強み 経験を用いている。 	<p>Weakness 弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去に論文を書いたことがない。 意匠系研究室に所属しているが、興味があるのは環境心理 (論文を意匠系にもっていきづらい) 8月中は院試で手一杯のため、研究を進めることが難しい。 実はトイにはそこまで興味はなく、"住宅"自体について研究をしない。
	<p>積極展開戦略</p> <p>現在の強みと機会を活かした展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 先輩に自分の持っている知識や考えていることを聞いてもらう。 論文の更なる飛躍につながるアドバイスをもらう。 積極性を活かして、先生方、先輩にどんどん相談に行く 	<p>差別化戦略</p> <p>弱さを補うポジショニングを探す</p> <p>既往研究を多く読み、論文の流れをつかむ。</p> <p>フォーマットや書き方を、先輩に聞く。</p> <p>図書館でトイに関する書籍を読み、関心のある頁目を探す。</p>
<p>Threat 脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> メカリが11月末 8月中は院試で手一杯のため研究を進めることが難しい。 資料室の利用時間が限られている 調査してきつくと結論が出ない 既往研究が深いところがある (同じ研究はできない) 石田先生があと東北大学にいらしてほしい。 住宅メインに扱う教授がほしい。 	<p>対抗戦略</p> <p>強みで競合に立ち向かう戦略</p> <p>スキャンして住宅特集を用いて研究を進める (without 資料室)</p> <p>資料室外の書籍で論文を書きすすめる。</p>	<p>守備撤退戦略</p> <p>勇気ある撤退も視野に入れた守り</p> <ul style="list-style-type: none"> どの研究室にいるかを考えるのをやめ、書きたい分野を女子がよように書く。 (石田先生が論文をcheckできる chance が少ないので可能) 逆に 自分のやりたい分野をあらかじめ、先生からテーマをもらって、きちんと結論の出る論文へ shift する。 論文提出をやめ、コースを選択する (コースは卒研のみ)

<p>卒業研究プロジェクト</p> <p>テーマ: Art in Shop (アーティストと商空間の コラボレーション)</p> <p>A6TB5003</p> <p>氏名: 赤垣 友理</p>	内部環境要因	
外部環境要因	<p>Strength 強み (白頭から雑誌などをフェックしている)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身がアートやショップデザインに非常に興味を持っていて、 ・研究室の先輩でアートに詳しい人がいる。 ・石田先生から適確なアドバイスを頂くことができる。 ・商店建築についての卒論が資料室にある。 ・東京は仙台から行きやすい。・アート系の団体に所属している。 	<p>Weakness 弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近になって注目されはじめたため、論文数が少ない。 ・大学の資料室には2009年以降からしか雑誌「商店建築」がない。 ・最先端のブランドショップは東京に多い。 ・8月中は大会や院試の準備で時間に限界がある。
	<p>積極展開戦略</p> <p>現在の強みと機会を活かした展開</p> <p>自分の手でショップデザインをすることで、よりリアルに考え、深みのある論文を書くことができる。</p> <p>東京で行われるイベントはある期間に集中して行われるので、何度も足を運ぶ必要がなく、金銭的に助かる。</p> <p style="text-align: center;">研究としてどうも、いいか。 何段階か必要。</p>	<p>差別化戦略</p> <p>弱さを補うポジショニングを探す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文数が少ない為、自分で考えた新しい切り口で論文を考えることができる。 ・時間をうまく使うためにスケジュール調整をして、効率よく調査を進める。(イベント期間に集中して) ・仙台で行われるアートイベントには必ず参加する。
<p>Threat 脅威</p> <p>商空間は流行に左右されるため、入れ替わりが激しい。</p> <p>(短い期間で空間が変わってしまう可能性がある。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近注目されつつあり、有名ブランドから無名ブランドまで、数が膨大であり、調べると限りがない。 	<p>対抗戦略</p> <p>強みで競合に立ち向かう戦略</p> <p>周囲の人やネットを利用して新しい情報を積極的に取り入れる努力をする。(BLOGなど)</p> <p>東京は距離的に近い為、1ヶ月に2~3回であれば行くことが可能で、変化を見ることが出来る。</p>	<p>守備撤退戦略</p> <p>勇気ある撤退も視野に入れた守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートとショップの関係性について上手く分析できなかった時は、建築計画的な論文を書く。(商空間の動線計画や人の視線など) ・卒論をやめて卒業設計だけに集中する。

<p>卒業研究プロジェクト</p> <p>テーマ: 1/8スケール設計 (建築の改修) エチオピア スラムたてかえ 計画</p> <p>氏名: <u>鈴木 茜</u> SUZUKI AKANE</p>	内部環境要因	
<p>Strength 強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 優秀なスタッフがそろっている。◦ 手がよく動く。 ◦ 金銭的援助が期待できる。 ◦ 五十嵐先生が親切によくみてくれる ◦ ある程度 社会性があるプロジェクト ◦ 現地調査を行った。 ◦ 楽観的な性格がある。 	<p>Weakness 弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 自分で模型を作れない / ◦ 英語が苦手 ◦ 先生の専門分野(?)にふみみすぎて、反論しにくい。 ◦ 色々な問題を一度に解決はれない。(頭がわるい) ◦ 言葉にしたい題材に興味を持てない。 ◦ 情報を得るのが大変。(もく現地調査したい) 	
<p>Opportunity 機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 金銭的カでより多くのスタッフをあつめる。 ◦ さらにA地A国を調査する (東南アジア圏) ◦ イスキスがある(残り2回) 	<p>積極展開戦略</p> <p>現在の強みと機会を活かした展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ より多くの貧しい国に行き、現地調査し、データを集める ◦ 専門家にヒアリング調査を行う。 ◦ 北山さんの評価だけを見て困らなず、自由にやる。 ◦ スタッフを交えて設計も考える 	<p>差別化戦略</p> <p>弱さを補うポジショニングを探す</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 模型を作る前、考える前の段階からスタッフを得る。(スタディ模型から作ってもらう) ◦ なるべく多くの人に相談しアドバイスをもらう ◦ 専攻地を狭く設定し、建築だけをつくる。 ◦ 現地の知人に頼んで、情報を送ってもらう。 ◦ エチオピア人の友人を日本でつくる。
<p>Threat 脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 卒業までの判断が厳しい ◦ 北山さんの言評面車軸がたよっていい ◦ 専門性が求められる 	<p>対抗戦略</p> <p>強みで競合に立ち向かう戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 多くのスタッフとともに、楽しく設計を仕上げる。 → 大学生活最後の良い思い出にする。 ◦ 自分にしか得られない現地の生の声やデータに基づいて設計。 ◦ スタッフの量、質でより大きく、細かな模型をつくる ◦ とても大きい断面図を書く。 	<p>守備撤退戦略</p> <p>勇気ある撤退も視野に入れた守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 文献で、非常にちみちな調査を行い、つじつまを合わせる。 ◦ 物事を段階を踏んでしっかりとやる ◦ 他人のアドバイスを自分のアイデアにとり入れる ◦ 他国似たような国に行く

外部環境要因

卒業研究プロジェクト テーマ: 新建築 集合住宅研究 がサブプライム以降の集合住宅 の変化 氏名: 眞霜 孝裕	敬復 知 内部環境要因 既往研究があまり見当たらない 参考文献	
	Strength 強み 2000年以降の新建築が与えている。 相談できる 教授や先輩方が多い。	Weakness 弱み 既往研究が見当たらない 参考文献が建築だけでなく経済の範囲にとどまる → 経済的知識が乏しい

外部環境要因	Opportunity 機会 新建築が刊行された。 エコノミスト ガイダンス 東洋経済	積極展開戦略 現在の強みと機会を活かした展開 既存の新建築のデータを集めつつ、日々更新する情報を随時収集していく。 その情報を基に先輩方に相談し、今後の方針を考えこく。	差別化戦略 弱さを補うポジショニングを探す エコノミスト、ガイダンス、東洋経済に限定し、その中で書かれた記事の情報を収集におよえ、 他に、幅太いものに手を出さない。 ↑ 弱さを補うには、経済的知識が乏しくてもいいからマニファクト。 ↓ サブプライム問題がおきた前後に、集合住宅の変化のついてを専論のテーマに 重きを置き、経済的知識が乏しいをカバーする。
--------	--	---	---

Threat 脅威 膨大な情報量への作業量。 資料室の利用に制限がある。 ← データ収集が困難	対抗戦略 強みで競合に立ち向かう戦略 早めの行動、随時、先輩方に進捗状況を報告し、今後の方針を考える。	守備撤退戦略 勇気ある撤退も視野に入れた守り 卒業テーマを絞り、自らの専門範囲にとどめて限定する。
---	---	---

<p>卒業研究プロジェクト</p> <p>テーマ: 都市における緑地ポテンシャルの評価</p> <p>氏名: 内海 康也</p>	<p>内部環境要因</p>	
<p>外部環境要因</p>	<p>Strength 強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ありデータを関数系を作り、プログラムを用いて広範囲に分析・評価する手法が研究室に蓄積されている。(Xyシミュレーション) ・ 緑地面積、緑被率だけでなく、緑地の与える影響を定義することで、緑地を正しく評価できる。 ・ 本研究内容を卒業設計に活かすことが出来る。 	<p>Weakness 弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関数系を組ませる為の定義が難しい。 ・ 卒業設計を行う予定なので、時間的制約が厳しい。 ・ プログラムに関する知識が未熟である。
	<p>積極展開戦略</p> <p>現在の強みと機会を活かした展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今までにない観点から、都市の緑地を評価することから都市の緑地の実態を明らかにする。 ・ 精度の高い航空写真とXyシミュレーションのスケールを大きくすることで信頼度の高い結果を提示できる。 ・ 評価軸の中に、他研究室の研究分野も考慮し、共同研究の提案ができる。 	<p>差別化戦略</p> <p>弱さを補うポジショニングを探す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間的制約にたいして、Xyシミュレーションを大きくすることで、ポテンシャルの概要を示す研究に切り替える。 ・ 関数系やプログラムの精度を、詳細なデータを入力することで補い、精度は劣るが、概要を示す研究にできる。
<p>Threat 脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本研究をXyシミュレーションで行う予定であるが、インフォメーションのレベルによる、より精度の高い研究が提出される可能性がある。 ・ 緑地面積を測る為の航空写真の精度が低い。 ・ 分析手法とこの参考文献のレベルが低い(見当らない)。 	<p>守備撤退戦略</p> <p>勇気ある撤退も視野に入れた守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術的要素がクリアできない場合、時間的制約もあり、研究の精度を、(プログラム、関数系、Xyシミュレーション)下げる。 ・ 十分にできないと、データ等の要素により精度が低くなる可能性があり、その場合、都市における人々の場所に対する意識の調査等を行い、その対比を行う。 ・ 時間的にない場合、卒業設計を諦める。 	

<p>卒業研究プロジェクト</p> <p>テーマ: 絵画における、窓の形態・特徴とその周囲での人のふるまいに関して。</p> <p>A6TB5020</p> <p>氏名: 大橋 秀允</p>	内部環境要因	
外部環境要因	<p>Strength 強み</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究室全体で関係するデータの収集を行っている。 前年まで窓の研究を行ってきたため、下地としてのデータがそろっている。 研究室の先生が絵画についての知識が豊富である。 <ul style="list-style-type: none"> 意見をもろうことで質が向上、また勘違いを正すことができる。 近い題材での論文を読むことができる。 収集できるデータの量が多くなる。 	<p>Weakness 弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵画に対する知識が浅い。各時代とその背景にある芸術的特徴について。 設備が若干不十分である。 <ul style="list-style-type: none"> 手軽に使えるスキャンがない。 HDの容量が少ない。(現在は3Fの大型スキャンのみ) テーマが定まりきっていない。 <ul style="list-style-type: none"> どの時代まで含むのか。 どの地域まで含むのか。
	<p>積極展開戦略</p> <p>現在の強みと機会を活かした展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 膨大な量のデータを整理し、知識をきちんと身につけた上で美術館、図書館へと行くことで多くの必要なデータをより効果的に収集することができる。 中間プレゼンの際に研究室全体でまとめることで負担が軽減、また最終的なまとめの負担も軽くすることができる。 中間プレゼンの際、最終的なまとめの際と、複数回にわたり研究室の先生に内容を確認してもらうことで、プロジェクトそのものの質を高めることができる。 	<p>差別化戦略</p> <p>弱さを補うポジショニングを探す</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くのデータを収集することで自分の芸術に対する知識を深めることができる。 絵画の知識がない人、工学系の人問だからこそできる観点でのまとめを行う。(主に窓そのものに関する観点から) テーマが定まりきっていないからこそ多くの量のデータ収集を行い、振り幅を大きくしておく。
<p>対抗戦略</p> <p>強みで競争に立ち向かう戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究室全体で中間まとめに取り組むことで、まとめるのにかかる時間を分散することができる。 多くのデータ、論文を読み返すことで早い段階で知識、感覚を取り戻すことができる。 	<p>守備撤退戦略</p> <p>勇気ある撤退も視野に入れた守り</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の持っている知識の範囲で行える観点からのまとめを行う。 テーマをはっきりと定めていないため、時間内で行える範囲でのテーマ設定をする。 	
<p>Threat 脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> 早い時期に一度、企業へのプレゼンがある。 <ul style="list-style-type: none"> まとめる時間が少ない。 大学院試験があり、一度中断せざるをえない。 <ul style="list-style-type: none"> 知識が抜ける可能性がある、まとめる時間が少ない。 		

<p>卒業研究プロジェクト テーマ：広場研究</p> <p>氏名：<u>石井 勇貴</u></p>	内部環境要因				
	<p>Strength 強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料・事例が結構集まっている。 ・頼める院生がいる。 ・互・嵐先生の豊富な知識がある。 	<p>Weakness 弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未だにテーマが決まっていない。 ・落としどころが見つかっていない。 			
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">外部環境要因</p>	<p>Opportunity 機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近資料集が出版された。 ・海外の広場の研究が多数報道されている。 	<p>積極展開戦略</p> <p>現在の強みと機会を活かした展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい題材に海外の広場と選定し、具体的に研究する。 ・報道されている広場について調べこみ。 ・集めた事例を、資料集の目録の形で類型化してみる。 	<p>Threat 脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台に「広場」がない。 ・調査候補文献が少なくて、新しい事例、調査対象が、数が少なくなってきた。 	<p>差別化戦略</p> <p>弱さを補うポジショニングを探す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料集を参考に、落としどころを探す。 ・資料集にない、おもしろい点を探し、テーマにする。 	<p>守備撤退戦略</p> <p>勇気ある撤退も視野に入れた守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ、落としどころを新規に探さず、時間をかけすぎない。 ・仙台以外の場所へ調査に行く場合は、早めに日程を決めておく。